

放送教育研究委員会資料

教育情報視聴覚部会研究発表会 R5.12.13

<委員会の放送教育活動について>

放送教育は、現在主に「委員会」活動ではなく「部活動」として行われていることがほとんどである。そんな中でも、ごくわずかではあるが、委員会活動の延長線上で「放送活動」にも取り組んでいる学校もある。

現時点で、把握しているのは公立高校では二校。そのうち、純粋に「委員会」として活動しているのは一校。あとの一校は「特別委員会」というかたちで、ほぼ部活動として活動している。

- ・委員会活動の延長線上で、放送コンテストに出場している学校の例
- ・放送(視聴覚)委員会の形(紹介)

<放送教育と探究活動>

- ・放送教育活動は探究活動の一つの形だと考えることもできる。

作品制作には、「取材」という活動が伴う。「取材」を通して、生徒はテーマに対する知識を深め、正確な情報を伝え、その上で自分たちの考え方を表現していく。

<AI と放送活動の著作権対応>

様々なネットサービスの急速な普及によって、教育活動(部活動・委員会活動)で著作権上の複雑な処理の必要性が出てきている。生徒が興味関心を持ち、番組制作のテーマにしたいと思い著作権について調べても権利が入り組んでいたりと、問い合わせをしようにも「ネット上に明記してある規約を読んでください」といった詳細への問い合わせに対応していないことも多い。さらに、直接問い合わせたとしても、海外との対応になることがほとんどなので、「時間」「言語」「高額な著作権料」「考え方の違い」などが障壁になってくる。

- ・様々なアプリと著作権
- ・生成 AI と著作権

<放送活動作品紹介>

- ・全国総合文化祭鹿児島大会ビデオメッセージ部門優秀賞(部門最高賞)
北杜高校「原付バイク最高ー！」